



ヒロードツリアブ

《私が子どもだった頃》 安齋純雄 (元・東京都職員)

今は空き地になっている大道一丁目の県営住宅に移り住んだのは昭和26年、私が3歳の時でした。30軒の新しい住宅には、私たちのような団塊の世代を中心に子どもがたくさんいて、一日中にぎやかに遊び回っていました。

小学生になると、高宗(今の高舟)から流れてくる浅い農業用水路で、メダカ、エビ、ヤゴを捕まえたりしました。道路脇の岩窪には、サワガニもいて、夏にはトンボ捕りに夢中になりました。住宅地を回り込んだ用水路が合流する付近の侍従川は、浅めで小さな子でも川岸に下りることができました。そこで、うなぎの稚魚がたくさん群れていたこともありました。

当時の侍従川は溢れやすく、この付近は、大雨と深夜の満潮とが重なって住宅数件が床上浸水の被害を受けたことがありました。濡れた家財を乾かしている光景は今でもよく憶えています。

高学年になると、カブトムシが集まるクヌギの木を探し当てたり、青木製作所の裏山の池へフナ釣りに行き、カメを釣ったこともありました。当時、廃墟だった鎌倉霊園のお堂の地下壕を探検したり、六浦駅の近くの友達と徒歩で逗子の海まで往復したこともありました。



ヒロードツリアブ

学名：*Bombylius major*

ツリアブ科。タワシにストローを付けただけのようなユニークな姿をした昆虫です。口先は尖っていますが、これはヒトの血を吸うのではなく花の蜜を食料としています。まだ寒さの残る日溜まりの中で、この虫を見かけると春はもうすぐそこだとわくわくしてしまいます。 解説：熊井健

中学は1年間、六浦中学校に通いました。校庭脇の侍従川は、干潮時は川底のヘドロが臭う川になっていました。大道分校に移り大道中学校の3年生になると、部活動が始まり生物部の顧問の先生が、三年の男子3人を葉山の立石海岸の磯の観察に連れて行ってくれました。綺麗な海で潮が引いた磯には、八景の海では見られない色鮮やかな小魚や貝類がとでも珍しかったです。



高宗(今の高舟)からの農業用水路

このような楽しい経験から大学は水産学部に進みました。魚や海の好きな仲間の集まるクラブに所属し、安房小湊の実習場には度々潜りに行きました。大学祭では大きなビニールシートに砂を敷き岩を配置して4畳半くらいの潮溜まりを再現し、磯の生き物や綺麗な小魚を放して楽しんでもらったりもしました。

その頃読んだ津田松苗著「汚水生物学」には、水の汚れ具合に応じ、多様な微生物が棲みつき、汚れを食べて水を浄化してくれる。これを上手に応用することで、元の清流に戻すことができる、という仕組みが書かれていました。高校の科学部で、横須賀の平作川の水質調査をした経験からも水質汚濁の改善に関心を持つようになり、水質検査職員として東京都に就職しました。東京都では多摩川の浄化のプロジェクトにも参画しました。

4年前に東京都を定年退職し、現在は、神奈川県秦野市に住んでおります。秦野の湧水群が市内に点在するなど水の汚れと無縁の土地柄も何かの御縁と思いながら、名水巡りの市内散策などをして、のんびりと暮らしております。

☆☆☆新連載コラム☆☆☆

私子どもだった頃番外編 ~床上・床下浸水~ 高桑正敏

かつては西ヶ谷戸でも床下浸水ほどの出水がときどきあった。1回だったか、自宅のすぐ南側の住宅から小学校方面は床上浸水になった記憶がある。脇の流れもあられ出て、道路も川もわからなくなったほどである。谷戸の水が集中する小学校正門付近では頻繁に川があられ、床上浸水の被害もたびたびであったようである。

大雨は恐ろしかったけれど、水が引いた後の楽しみがあった。自宅前の排水路にたくさんフナが避難していたので、かんたんに多数が採れたからである。ただし、庭の小さな池にも水が入ってしまい、飼っていたフナや金魚も流されてしまった。もちろん、暗渠と化してしまっただけから、このような恐ろしさも楽しさもなくなりました。

侍従川浚渫工事に対する臨時総会 議事録

会場：大道コミュニティハウス2階多目的室

日時：1月19日（土）17：00～18：30

出席者：22名（うち大人20名、小学生1名、幼児1名） 委任状提出：24名

侍従会役員：相川会長、細川、廣瀬、河本、寺尾、山田、佐野

●進行

- ・臨時総会の目的説明（会長）
- ・詳細説明（細川） → 意見交換（出席者全員） → 採決（会長）

●会員の意見

- ・川幅を広げて今の侍従川の状態になってからは洪水（溢水）は一度も起こってない。
- ・掘り下げることでは、津波対策にならないので、今回の計画は全く意味がない。
- ・県が計画している侍従川の掘り下げ工事は税金の無駄使いである。
- ・川を掘り下げることによって海水が流入してホタルやカルガモの生活圏が破壊される。
- ・掘り下げは、県が推進している生物多様性を進めるための川づくりに逆行している。
- ・県営住宅の跡地に多自然型ビオトープを兼ねた遊水地を作るということも考えて欲しい。
- ・掘り下げ工事を行う代わりに、大道橋上流（横浜市管理）の三面コンクリートを剥がせば、流れが遅くなり、降雨時の流量が増えるのを防げるのではないか。
- ・朝比奈の源流から河口まで流域全体の自然を考えた治水を希望する。
- ・侍従川を地域に残された貴重な一本の川として、県と市が協力して治水をやって欲しい。
- ・掘り下げればヘドロがたまるだけで効果はない。
- ・洪水が心配なら壁を高くして川の容積を増やせば良い。
- ・これだけ貴重な生物が棲息する侍従川なので、生物多様性につながる治水を希望する。
- ・地域の人々が侍従川の自然を守りたいという意見を持っていることを賛同者の署名を集めるなどで県に訴えるのが有効ではないか。
- ・侍従川流域の地域住民にアンケートをとったらどうか。



- ・掘り下げの計画が実行されると今までのような侍従川はなくなり、侍従会も消滅する。
- ・掘り下げるのであれば、葦原の一部を移すとか、掘り下げる流域を妥協できる範囲にするとか、川を残すための折衷案も模索したい。
- ・汚い川だった侍従川が20年かけてようやく今のようになったのに、また昔に逆戻りしてしまうことは止めて欲しい。
- ・流域の小学校の生徒の自然教育の場になっているので、子どもたちの自然体験ができるように考えて欲しい。

●採決（ふるさと侍従川に親しむ会の総意）

以下のとおり、侍従会の意見を取りまとめ、採決を行った。

・採決内容

1. 侍従川の環境を破壊する川底の掘り下げ工事は会として反対する。
2. 安全に自然と共存できる侍従川の改修方法を提言する。

（編集部注：神奈川県河川の整備は、現状調査→整備基本方針作成→整備計画策定→実施の順で行われ、現在は現状調査が終了し、これから基本方針が作成されます。）

トピックス

◎12/18（火）大岡小学校4-3に侍従川をモデルとした森から海までの川のレクチャー（山田が対応）

◎12/29（土）第27回横浜の水辺と緑を考える子ども会議に向けた打ち合わせが大道小学校で行われる（参加者：石黒、廣田、深沢、長崎、佐野、山田）

◎1/5（土）横浜の水辺と緑を考える子ども会議実行委員会1回目が大道小学校で行われる（参加者：石黒、廣田、深沢、長崎、鈴木も、鈴木ひ、鈴木あ、鈴木あ、島村、柴田さ、佐野、山田）

◎1/11（金）大道小学校5年生による侍従川泥牛橋付近の葦刈り（相川会長、細川、竹内が対応）

◎1/26（土）葦船づくりのための葦選別&束作りと小チョリソ作り

◎2/9（土）横浜の水辺と緑を考える子ども会議実行委員会2回目が大道コミュニティハウスで行われ、侍従川観察も行われる（参加者：石黒、廣田、高橋、金澤、柴田ま、深沢、長崎、鈴木も、鈴木ひ、鈴木あ、鈴木あ、島村、柴田さ、佐野、山田）

◎2/26（火）3月中旬に行われる侍従川中流域（山王橋～大道東橋）土砂除去工事の現地打ち合わせを、神奈川県横浜川崎治水事務所と業者と行う（細川、山田が対応）

◎3/4（月）「流域連携よこはま」情報交換会&説明会で香港銀行からの助成事業で2013年度、大岡川と侍従川でイベント実施要請（7/6実施）

侍従川バチヌケ調査

バチヌケとは？

バチヌケとはゴカイの仲間(多毛類)が産卵のため川底の泥地から這い出て水面を浮遊する状態をいいます。(バチ=多毛類、ヌケ=抜ける) バチヌケは2月から4月頃の大潮の前後に多く見られ、大量の多毛類がウニョウニョと水面を漂うのです。



2/14 侍従川高橋付近



2/14 侍従川汐見橋付近



【調査日】

2013年2月13日
(19:15~20:30)及
び2月14日(20:30
~22:00)

【調査地点】

上流から大道東橋、泥
牛橋、加寿美橋、六浦
二号橋、諏訪の橋、侍
従橋、高橋、汐見橋、内
川橋、新川橋、雪見橋、
雪見人道橋、平湯橋

【結果】

2月13日は確認することができませんでした。しかし翌日14日は大当たりし、21時30分頃から新川橋~泥牛橋間で確認することができました。今回の観察から、出現には時間帯が重要なことが考えられます。また、最も多かったのは新川橋付近及び汐見橋付近でした。特に汐見橋付近には川沿いに街灯があり、街頭で水面が照らされているところには多数の多毛類が集まっているのが観察されました。



2/14 侍従川泥牛橋付近 ヤマトカワゴカイ

山田陽治・佐野真吾

冬のもりたんけん

【活動報告1】

12月9日(日) 9:00~16:30

大道小学校~朝比奈切通し~十二所果樹園~熊野神社~大道小学校

長崎和則

冬恒例、侍従川や太刀洗川の源流である朝比奈の森を訪ねる【冬の源流の森探検】が行なわれました。

当日は気温が低く、強い風が吹いていましたが参加者は37名、小さな子(幼児)も多く5名もの参加がありました。

9時半ごろ出発し、朝比奈切通し入り口から森に入ります。

横浜横須賀道路の高架下ではアリジゴクを見つけました。木の実を拾ったり、アオキの緑色の実を見つけて飛ばしながら、とそれぞれ好きなことをして、少し残る紅葉を見ながら三郎の滝まで歩きました。

滝の周辺では水の冷たさにも負けずに水棲昆虫を探しました。ヒラテテナガエビ、ホトケドジョウ、アサヒナカワトンボのヤゴ、カゲロウの幼虫などの生き物が観察できました。

竹の笛を作ってみみんなで吹きました。初め音が出ない子も少しずつ音が出始め、みんな『プー、プー』と大きな音が出るようになり、とても嬉しそうでした。

十二所果樹園に着くと昼食です。例年果樹園の頂上でご飯をいただきますが今日は風が強いため果樹園の小屋のところでご飯をゆっくりと頂きました。

昼食後、果樹園の頂上で竹の弓矢と矢を作り、みんなで矢を飛ばして楽しみました。矢を入れる矢筒も竹で作りました。

竹の笛、弓と矢を手を持ちたり、体に付けて尾根道を通りながら熊野神社へと下り、畑の横の道路から大道小学校へ戻りました。

みんな最後まで楽しく歩き続けることが出来ました。例年探検は多少ワイルドですが、今年は小さな子も多



かったので少しソフトな冬の森探検でした。

最後まで歩き通した小さな子の頑張りがとても感動的でした。偉かったです。
みなさんお疲れ様でした。



冬のもりたんけんの感想

- ゆみやを作ったりみんなでごはんをたべたのがたのしかった。とちゅうらゆいちごをたべた。あまずつぱくておいしかった。いますぐまたいきたい！（とりごえたまき）
- みかんがたべられなかったのがざんねん（みかんのきがあり、おちてたのをひろってあとでたべるつもりがわすれてしまった）（とりごえたつ）
- 今日はありがとうございました。全部楽しかったですが、私は一番、竹笛が楽しかったです。これからも、よろしくお願いします。（大森もも夏）
- ひさびさに侍従川会に参加しました。すごく寒かったですがみんなと会えてとても楽しかったです。でも、ターザンはやりたかった。（長崎光樹）
- 同じクラスの碧ちゃんといっしょに行けてよかったです。寒くて帰りに12回もくしゃみが出ました。（長崎美樹）
- ゆみやをうまくとばせなかったのでくやしかったです。やをいれるまるいのがほしかったです。（長崎久桂）
- 弓矢を作って貰って何度も練習したら遠くに飛ばせたことが一番嬉しかった。それから、みんなとハイキングしたこと。山田さんに会えたこと。（やぎしたしゅんすけ）
- 一番はお弁当、そして、ハイキング途中の休憩。（やぎしたはると）

12月定例クリーンアップ

【活動報告2】

12月23日(日) 9:00~11:30 晴れ

朝比切り通し下~大道東橋(ゴミ拾い)

細川一雄

参加者：長野政治、西澤博厚、八木場紀元、角田繁、村田章夫、長橋輝明、高木之靖(パタゴニア)、廣瀬隆夫、河本充雄、山田陽治、深沢大地(小坪小)、柴田真穂・浅野千遥・梶原祐月(屏風浦小)、細川一雄(計15名)

クリスマス寒波が日本列島を覆う中、服をいっぱい着込みましたが当日は風が余り吹いていないのが救いでした。

これからは、しばらくの間草刈り作業は無く、もっぱら清掃作業に専念することになります。

久しぶりに15名という大人数になりましたので、山田さん達と子ども達は大道東橋~大道橋の区間。他のメンバーは源流域から大道橋の区間を清掃することにしました。

しかし、筆者の説明の仕方が悪かったのか、遅れてたどり着いた朝比奈インター下の水路には誰もいませんでした。他のメンバーは朝比奈橋の下から作業を始めたようです。仕方なく一人で清掃作業を行いましたが、大型のゴミや金物のゴミが多く持っていった土嚢袋はあっという間に満杯になってしまいました。

途中で拾った畑用の土袋をゴミ袋にして作業を開始しますが、それも金の橋手前で一杯になってしまいました。あわてて電話で土嚢袋を持ってきてもらい作業を再開します。環状4号線下の暗渠を通過して耕地橋下から、朝比奈橋を通過し、里野橋から上に上がってちとせ園に戻りました。

以上の様な理由から、他のメンバーの作業状況がわからず報告できないのはご了承下さい。ちとせ園に戻ると既に殆どのメンバーが作業を終わり一息ついていました。しばらくすると山田さんと深沢君が、私が小池さん方の上流の通路に上げておいたゴミ袋2袋を吊り下げて持ってきてくれました。その後河本さんが作ってくれた美味しい甘酒をご馳走になり、11時30分頃に解散しました。



ネイチャークラフト教室

1月19日(土) 9:00~16:00

【活動報告3】

鳥越典子

1月19日(土) 晴天に恵まれ、ネイチャークラフト教室〜つるでかご作り〜が行われました。

参加者大人6人、小学生8人、幼児4人、計18名、大人も子どもも元気に、まずは侍従川源流にて“つる”とりから。

途中、つららを発見。子ども達の中にはつららを見るのも初めての子もいて大喜び。さわるとツメターイ！

山田さんの説明を聞いて、また経験者の大ちゃんからも教えてもらい、始めはどれがつるかわからなかった子ども達も(大人たちも??) どんどんつるをとります。手繰り寄せると別の人も反対側から手繰り寄せていて思わず笑顔！

そのうち子ども達は、斜面を滑り降りたり、木からぶら下がる事の出来るつるを見つけターザンごっこを始めました。

おもちゃなんてなくても自然で遊べちゃうもんね！

子どもがあんまり楽しそうにぶら下がっているものだから、ついに大人もターザンごっこ。童心に返った一日でした。

つるを運びやすいように丸めそれを木にさして、皆でお神輿のように担ぎ、コミュニティハウスまで運びます。

昼食後、説明を聞いてかご作り開始。途中まで編んでから気がついたのは、はじめのつる選びにポイントがあるのだという事でした。

そしてかご編み初体験の筆者は、いつまで経っても底でいつになったら立ちあげられるのだろう?・・・ただひたすら編んでいました。

そして、ついに(苦心して) みかん入れ完成!!

皆さんそれぞれ個性豊かな作品に仕上がっていました。力作をご覧ください。⇒ 次ページ





1月定例クリーンアップ

【活動報告4】

1月27日(日) 9:00~12:00 晴れ 4℃

源流(朝比切り通し下)~六浦2号橋(ゴミ拾い)

細川一雄

参加者：長野政治、長橋輝明、西澤博厚、八木場紀元、角田繁、石渡博、外川忠志、高橋のりみ(横浜市会議員)、高木之靖(パタゴニア)、山田陽治、深沢大地(小坪小)、柴田真穂(屏風ヶ浦小)、鳥越昌三、鳥越典子、鳥越珠貴(梅林小)、鳥越龍、鈴木日菜(高舟台小)、鈴木萌々(高舟台小)、鈴木杏木由(高舟台小)、鈴木杏胡(高舟台小)、細川一雄(計21名)

冬本番、今年の冬は特に寒いようです(14日には14cmも積もる大雪となり大変でした)。大寒のど真ん中の27日朝、思った通り気温は4℃。何枚も重ね着してちとせ園に集合しました。



今月から恒例の葦船学校が始まりました。1月11日と1月26日の葦刈りで刈り取れなかった六浦2号橋下の葦刈りとゴミ拾いを実施しました。



メインのメンバーには作業量があると思われる葦刈り作業をお願いし、大人5名は源流域(朝比奈切り通し下)まで遡りゴミ拾い作業を行いました。源流域は川幅が狭いものの、相変わらず水が綺麗でうっそうと

木が茂っていて山奥に分け入った趣ですが魚が1匹もないのがなんとも残念です。当日忙しい政務の中、クリーンアップに参加してくれた横浜市議員の高橋のりみさんも一緒に源流域で作業をしてもらいましたので、侍従川源流域の現状をしっかりと見てもらい、途中の堰に魚道を作る等改善策は無いものか力になってもらえる様お願いしました。

源流域は家電製品や金物、ガラス瓶のかけら等が多くゴミ袋が直ぐ重くなってきます。途中、川に垂れ下がってきている木の枝や蔓などは日の光が川面に入るように切り落としていきます。途中小池さん宅裏の崖の所に地面から湧き出てきた水が葉っぱを伝って落ちるときに凍ってツララになっていました。



金之橋を過ぎ環状4号線の下を通る暗渠を抜けると3面コンクリートになります。しかも河床は両面から中央に向かって傾いていて中央は幅1m位くぼんでいます。その為傾いているコンクリート部分を歩く時は濡れていると滑って非常に危険です。特に冬は凍っているため特に滑りやすくなっています。そんな場所で事件は起きました。ズーンという音と共に高橋さんが転んでしまいました。凍った斜面に足を掬われたようです。右手にカマ、左手に土嚢袋と両手が塞がっています。万が一にもカマで体を切らないか心配しましたが、さすが柔道2段!。咄嗟の受け身で少し顔を擦っただけで済みました。直ぐに立ち上がって作業再開です。またそこでビニール袋に入っている小銭を拾いました。大道交番に持っていったら5,046円ありました。



耕地橋の堰を下り朝比奈橋、里野橋と下っていきます。この近辺は橋が多く橋の有る所には必ずゴミが落ちています。特にタバコの吸い殻やビニール袋。橋を渡る人たちが何の気なしに捨てていってしまうようです。また、里野橋横のゴミ集積所では、いつも集積所のゴミが川に落ちていています。丁度、高橋さんが午後から町内会長さんに合うので話をしておきますと伝えてくれました。

途中青木橋の下で一休みしてから再び川を下って行きます。大道橋近くで重くなった土嚢袋を上に入れて身を軽くし、途中で拾った袋を使ってゴミ拾いを続行します。そのままちとせ園を越えて山王橋、長島橋とゴミの回収作業をして12時近くに終わりました。ちとせ園で、手伝ってくれた子ども達にお菓子とジュース、大人には軽い飲み物を飲んでもらい解散しました。



葦船学校

【活動報告5】

2月2日（土）、3日（日） 大道小学校

廣田結衣（中1）

去年に引き続き、今年も葦船作りが大道小学校で行われました。

集まったのは小学生や中学生。それに、大人の方たちでした。

その日に作ったのは葦船のパーツです。途中、差し入れのお菓子やジュースを飲みながら大人の方たちのご指導のもと、みんなで協力して着々と作り進めました。今年は例年とは違った作り方で葦船をつくりました。

2日目にやった作業は前日に作ったパーツを組み合わせて船の形にすることでした。みんなで声を掛け合いながら楽しく作業を進めることができました。この日に完全に作り上げることはできませんでしたが、やはり船を作るのはとてもやりがいのあることでした。



2月定例クリーンアップ

【活動報告6】

2月24日（日） 9:00~12:00 晴れ 3℃

六浦2号橋~大道東橋~大道橋~朝比奈橋（ゴミ拾い）

細川一雄

参加者：長野政治、西澤博厚、八木場紀元、角田繁、村田章夫、石塚正夫、外川忠志、山田陽治、鳥越典子、鳥越珠貴（梅林小）、鳥越龍、深沢大地（小坪小）、金澤（高舟台小）、上条（高舟台小）、細川一雄（計15名）

記録的な寒波が日本列島を襲い、青森県の酸ヶ湯では積雪が5.6mとなり記録を更新しました。関東でも連日氷が張り、温暖化は何処に行ってしまったかという感じです。

今回は、例年行っている大道中学校の溪流の枝打ち作業もあるため、川を上流・下流から掃除する組（2組）と、大道中学校の枝打ちをする組の3組に分かれて作業を開始しました。

清掃グループの下流組は大道東橋から川に降り、丁度大潮の引き潮の時間でしたので六浦2号橋まで下って、そこから上流に向かって清掃作業を行いました。また上流組は地蔵前橋から降りて朝比奈橋まで遡りゴミを拾いながら川を下ります。草はすっかり枯れてしまっているの小さなゴミ（タバコの吸い殻、お菓子の袋等）も



長嶋橋下流の清掃風景



明戸橋下の散乱したゴミ

良く見つかります。相変わらずタバコの吸い殻が多くて閉口してしまいます。

また明戸橋の横のゴミ集積所からこぼれたような家庭ごみが川の中に散乱していて、自分たちのゴミが川を汚しているのに何にも感じないのかと憤慨してしまいます。そこばかりではなく、このごろ明らかに家庭ゴミが多く見られるようになりました。モラルの低下を感じてしまいます。

ちとせ園まで上ってくると、さすがにゴミ袋が一杯になりましたので、一旦ゴミ袋を公園に置き、新たにゴミ袋を持って作業を再開します。加倉橋まで遡ると上流組と合流し清掃作業は終了しました。

その後、大道中学校の枝打ち作業の応援に駆けつけます。中学校では長野さん・山田さんと子どもたちが頑張っていました。力仕事の高枝きり作業を代わり、川を覆うように伸びた枝をバチバチ切り落とします。しかし人数が少ないのと、草刈りグループが予定していた牡蠣パーティがありますので、途中でしたが作業を終了しました。



『森の遊び人・やまだようじの自然遊び教室』

アサリの松葉釣りの巻



(解説)

春は、大潮の干潮時に潮がよく引き、潮干狩りには最適なシーズン！今春は一風変わったアサリの捕り方をしてみよう！アサリの目

(水管の穴) の真ん中に松葉をさし、引き上げると…アサリが釣れました(^O^)

アサリは有限な資源。2cm以下のアサリを捕ることと、幅15cm以上の鋤簾(じょれん)などを使うことは禁じられています。

朝夷奈の森通信 ～森の忍者より～ 飯村優介

2013年 冬の森

朝比奈周辺の源流の森は冬もキノコ類の育ちが良く、山菜も早い時期から伸びはじめます。

今年はポイントごとにレポートしてみましよう。

1月は気温も低く晴天も多いので、天然シイタケやエノキタケ、キクラゲ類も成長はのんびり。

特にシイタケはゆっくり肉厚に育ち、ドンコというとても美味しいのができます。雨や雪で、一気に開きすぎて味が落ちることもあるので、荒天前日に森へゴー。その頃台湾の北で低気圧が発生、さらに南の熱低も吸収して、翌日大雪型に。

今回は特に高さ130m以上で40cm超えとなり、南大丸山と呼ぶ大道から見える一番高い148m峰は45～50cmもの積雪でした。

2月の上旬は暖気で暖かく、ヤマアカガエルのレポートも入りました。フキノトウが南向きや低地の物は食べ頃。天然シイタケも発生ペースが早くなります。

今年の中旬、下旬寒気が強く、野草は今のところやや遅めです。また、冬型で晴れるはずが、曇りや雪になり、特に三浦半島に強い雲がかかり、南の山々で吹雪かれることがあります。

天気図にも書かれない局地的前線で伊豆から房総にかけて雲が発達し、にわか雪になるのです。

2月24日の調査で、小学生が私も初体験のキノコを発見。モエギタケ科のナメコ。

カラカラの幼菌を水戻し後ゼラチン状の被膜が復元され、食味もつよいぬめりとコクのある旨味が出て天然ナメコそのものでした。ブナでなく、山ザクラに出て、乾燥しておりものすごくむずかしい同定になりました。暖温帯での生育も珍しい、希少な例です。ひからびていたが気になり調べたら新しい出会いでした。

食用になるか判定のむずかしいキノコ。よく見つけてくれました。



大雪の森



天然しいたけとふきのとう



ナメコ、からからに乾き現地
で同定できず



翌日水戻し、確定。おいしい
キノコとなる。

侍従川生き物図鑑 No.19

～ ヒメウラナミジャノメ ～ (タテハチョウ科)

学名：*Ypthima argus* 体長：前翅長18～24mm

侍従川中流から上流域で普通に見られる小型のジャノメチョウの仲間で、成虫は春から秋にかけて活動します。幼虫の食草はイネ科のススキやチヂミグサ。

目玉模様が著しく目立つからなのか、学名はギリシャ神話に登場する百目の巨人アルゴスに由来するそうです。



琉球生き物紀行 ～美ら島の生き物たち～ ～ アオビタイトンボ ～

学名：*Brachydiplax chalybea flavovittata* Ris 体長：♂39ミリ、♀32ミリ

分布布：沖縄島、石垣島、西表島、奄美大島、九州南部、台湾、中国、ベトナム

シオカラトンボを小さくしたような可愛いトンボで池、沼に生える植物の葉の上によく止まっているのが観察できます。かつての国内での分布は大東諸島だけの分布でしたが、近年九州あたりまで北上し分布域を拡大してきているトンボです。名前の“アオビタイ”は本種のみ額に当たる部分が金属光沢を帯びた青色をしていることに由来します。



名護市 6月

雌雄で模様が異なり♀は尾の先まで虎模様をしています。



縄張りをパトロール飛行する♂
名護市 8月



葦の上で縄張りを張る ♀
名護市 7月
監修：熊井（中縄在住）

熊井氏講演会開催される！

ダボいぜ通信の「侍従川生き物図鑑」及び「琉球生き物紀行」でもおなじみの熊井健さんが2012年12月に一時帰宅しました。熊井さんはもともと侍従会育ちですが、現在は沖縄本島を中心に南西諸島の島々をまわりながら昆虫写真家として活動されています。そして今回（2012年12月19日）は、今までの撮影秘話や体験談、珍しい生き物などについて大道小学校コミュニティハウスでお話していただきました。

お話の中で、沖縄本島北部に広がるヤンバルの森に撮影のため夜中一人で入りハブやマルバネクワガタを探したり、特別天然記念物のヤンバルテナガコガネと出会ったり、横浜にはなかなかできない体験談が印象的でした。また、ヤエヤママルバネクワガタやオオサワガニなど、実物も持ってきてくださり子どもたちにも大盛況でした。

来年はまた、私も沖縄に旅行して熊井さんに案内していただこうと楽しみにしています！



《講演会の感想》

熊井さんの説明はとてもおもしろいと思いました。沖縄にはまだ行ったことないですが、いつか行ってこちらにはいないレアな虫などを見てみたいです。実際に持って来たカニが甲殻類っぽくすごいと感動しました。（長崎光則）



だより

侍従会の原点 トンボ池の整備

3年前、池の前のアスファルトをはがして芝生を植えましたが、水はけが悪いのと、日照不足のため、枯れてしまいました。そこで、今年度、



芝生の植え直しをして、枕木を並べて歩きやすいようにしました。今後は、池の中の生き物のバランスもよりよくしていきます。

「大道むかし ふれあい資料館」エントランス完成！

コミュニティー2階の資料館に、寄贈された「引き戸」や「欄間」を組み合わせて「入り口」を作っていただきました。これからもリニューアルオープンの日（10月5日（土）大道小学校70周年）を目指して活動を続けていきます。

伊藤 憲生



佐野真吾が語る侍従会の思い出 ～葉山を1日歩いて～

2002年、私は中学3年生です。実際そんなに勉強に熱が入っているわけでもないのに何となく周りの雰囲気に合わせてるように受験生モードになりました。親に反抗しながらも親の目やクラスの受験雰囲気などに飲まれて侍従会や部活も自然と行かなくなりました(個人的な虫とりだけはちゃんと行っていましたが)。

しかし、私は運がよく皆より早く推薦で高校が決まってしまいました。そうすると、この時期学校には遊ぶ人がいないし、部活も引退しているし、行くべきところは侍従会しかありません。また、この頃普及し始めて流行の絶頂であった携帯電話を高校入学祝で買ってもらいました。私は買ってもらった自分の携帯電話を使って早速山田さんにメールをしました。そして二人で葉山町・逗子市をまたぐ二子山に行こうということになったのでした。当日は六浦駅から電車に乗り、新逗子駅から歩いて二子山に向かいました。そして森戸川に沿って上流方向に歩きました。

実は山田さんと二人きりで出掛けるのはこの日が初めてでした。侍従会の活動では仲間たちと大勢で出掛けることが多かったですし、侍従会の活動以外でも人気者の山田さんには必ず近くに誰かいて、思い返してみればゆっくり話をする機会はありませんでした。今でこそよく二人で出掛けたり、食事をしたりしますが、当時中学生であった私は、山田さんにとってまだまだ子どもだったと思います。高校入学以降は、山田さんとプライベートで会う機会が格段に増えていきますが、この日がそんなこれからの1日目であったかもしれません。

とは言え、この日、何か画期的で忘れられないほどの会話が繰り広げられたということはなく、生き物の話やこれから行きたい場所の話をしてながら、少し熱を入れた“山田さんが思う侍従会の未来”について話を聞いた覚えがあります。この山田さんの侍従会への熱い想いについては、そのうち『隊長山田さんの侍従会にかける夢』で紹介したいと思います。



さて、この日は二子山を歩きながら“オサ掘り”をしました。オサ掘りとは越冬中のオサムシの仲間を崖や土手を崩しながら探す方法のことを言います。二人で崖や土手を崩しているとアオオサムシとハンミョウが出てきました。しかし、夢中になって崩しているうちにふと気付きました。「俺たちが通った痕、地形が変わってない?…」「確かに…酷い…。オサ掘りをする時は適度を考えなければいけないですね。

その後二人は川から外れて登山道に進みました。すると、一人の年輩の登山者に会いました。「君たち今から行くの?」「ええまあ!」「結構先長いよ!もう3時だよ?日が暮れちゃうんじゃない?大丈夫?」「大丈夫です。ありがとうございます!」「迷わないようにね!一人お婆さんが行方不明になってるから!」「まじか…」。

こうして二人は少しペースを上げて進みました。そして1時間程進んだところで3方向に分かれた分岐点に着きました。「サノシンはどちらだと思う?」「ええーっ!?知らないんですか?」今まで完全に山田さんは道を知っているものだと安心しきっていた私は驚きました。「前に一度歩いたことあるけど忘れちゃった…(笑)」「ええーっ!?」。こうして二人は運命の3選択を迫られました。しかし、山田さんは「迷った時は自分で道を切り開くんだ!」などと適当なことを言っているし、私もなんとなくかなるだろうという楽観的なところがあるので、とりあえず二人で選んだ道を進むことにしました。

「ああ!たぶんあってるよ!」「ホントですか?」「何となく覚えてる気がする!」

それからまた1時間くらい歩いたでしょうか、日はだいぶ落ちて暗くなり始めた頃ようやく山から出ることができました。「なんか見たことある場所ですね!ここいつも生きもの探しにくる所ですよ?」出られた場所は葉山町上山口の新沢川源流部でした。「へえここに出られるんだあ!!」。やっぱり知らなかったんじゃないか…。私は心の中でつつこみを入れました。こうして、その後、日没とともに二人はバスに乗って帰宅しました。



侍従会という活動は、普段は大勢でワイワイとやっていてそれが楽しみであったりするのですが、時には会の仲間と活動以外の場所で会ったり、遊んだり、話をしたりするのもいいですよ。また侍従会がそのような繋がりのきっかけとなればそれはそれで素晴らしいことだと思います。次回も山田さんと出掛けたお話です。「朝比奈の森と忍者の修行道」をご期待ください。

『佐野真吾が語る侍従会の思い出』 つづく



虫のきょういく座談会 ～結成!? ネイチャーヒロインJr48～

参加者：山田・熊井・佐野

これは2012年の冬、熊井氏が沖縄から一時帰宅していた時の話である。その日、山田・熊井・佐野の3人は千葉県に生きものを探しに行き、帰りにスシローに寄って食事をすることにした。そして話はなぜか(?)“昆虫からみる女性観”という話題になっていた。

山田「恋愛面で虫にだけはなりたくないなあ～！オスの方が痛い目みるし…有名だけどカマキリとか壮絶じゃん！最後食べられちゃうし！」

佐野「タガメなんかもっと酷いですよ！メスは浮気するし、オスは殺すし、ヤバイ時は卵の大量虐殺までするし！」

タガメのメスは自分の子孫を残すために他のタガメが生んだ卵を破壊し、その卵を守っているオスと繁殖行為をしようとする習性が知られている。そしてその時、自分が守っていた卵を壊されたオスは究極の選択を迫られる。それは、その場で逃げるか、メスに殺されるか、わが子を殺したメスと結ばれるかという恐ろしい3選択である。

山田「俺なら逃げるな！」

熊井「俺も逃げる！（笑）」

佐野「人間で言えばいびつな愛情というやつですね！そこまで尽せたら最強ですね！（苦笑）」

3人の意見は全員一致である。昆虫からみた女性観は恐ろしい。

山田「クマっちはどうなの？」

熊井「僕はノコギリクワガタみたいにオスとメスがいつも連れ添ってる感じがいいと思いますけどね（照笑）」

山田「でもクワガタは逆にメスを挟んで殺しちゃう習性をもってる種類もあるよね？俺あれは嫌だなあ～コワイなあ～！サノシン、ゲンゴロウなんか可愛らしいしそのへんどうなの？シマゲン（シマゲンゴロウ）とかアイドルっぽくて可愛いじゃん♪」

佐野「山田さん相変わらずシマゲン押しですね（笑）しかし残念ながらゲンゴロウも…ん？」

山田氏は人に話を振りっぱなしで、注文するためのタッチパネルに流れているアイドルの映像に目を留めていた。

山田「サノシン？このアイドルをゲンゴロウに例えたら何ゲン？（笑）」

佐野「はい? (笑)」

山田「最近アイドル増えたよねえ? 小学校とか行っても皆AKBとかももクロとか言ってるし。」

映像には“NMB48”と出てきた。

佐野「AKBの類ですかね? 最近SKEとかいろいろ出てきましたよね。」

山田「NMBは何の略?」

熊井「難波 (NaMuBa) じゃないですか? AKBは秋葉原 (AKIhaBara) でしょ?」

山田「おお!!なるほど!!」

熊井「侍従会でもJJBとかいって何か作ったらいいんじゃないですか? (笑)」

山田「それだよ! ☆それを今考えてた!! ☆ 知り合いのグループにエコアイドル (略してエコドル) っていうのがあるんだよ! 侍従会も負けてられないよ! 時代の波に乗ろう!」

近年、確かにアイドル戦国時代などと言われAKB48を始めSKE、NMB、ももいろクローバーZ、モーニング娘など数多くのアイドルグループが世間を賑わせている。

熊井「侍従川 (JiJuRiver) なのでJJR48でどうですか! (笑)」

山田「おお! いいねえ☆」

佐野「メンバーはどうしますか? 48人も女の子いましたっけ?」

山田「大丈夫! ミッツーやダイちゃんも入れる!!」

佐野「男じゃないですか!!」

山田「あとはお母さんたちも入れる! そして俺が秋元康をやる!」

佐野「メチャクチャですね!!」

こうしてふるさと侍従川に親しむ会では、自然をテーマにしたアイドルユニット“JJR48”が結成されることになった(?). 今後は山田プロデューサーによる厳選されたオーディションや夏の総選挙に向けての選抜などがおこなわれるそうだ(??).

侍従会の少女 (少年もあり?) たち、お母様方は是非ご協力していただきたい…。

(おわり)



侍従川定例調査報告 学生部

12月23日(日) カモ調査 曇り/晴れ

調査者：浅野、梶原、深沢、佐野、山田、柴田

調査場所：ちとせ園(大道一丁目緑地)・二の橋～野島水路…中流域～海域

【長島橋～大道東橋】(中流域) 12:45～
カルガモ11、ヒドリガモ1♂1♀、コサギ1、
ハクセキレイ1

【高橋～汐見橋】(下流域) 13:30～
ヒドリガモ7♂7♀、ホシハジロ2♂

【新川橋】(下流域) 14:00～
ヒドリガモ1♂1♀

【平潟橋】(下流域) 14:45～
ホシハジロ3♂3♀、キンクロハジロ1♀、
カワウ1

【平潟湾】(海域) 15:10～
カルガモ1、ヒドリガモ13♂12♀、オナガガモ
1♂1♀、オオバン約20、ユリカモメ2

【野島水路】(海域) 15:50～
カイツブリ1、オナガガモ5♂1♀、ヒドリガモ5、
ホシハジロ約40、キンクロハジロ16、スズガモ
約40、オオバン4

備考：オンブバッタ♀がいた(大道東橋付近)。

下流域(新川橋～内川橋)にゴミが多かった。
今回の調査では、侍従川より野島にカモが多か
った。

オオバンは、侍従会の調査では初記録。

スズガモは、侍従の調査では15年ぶりに記録。

記録：柴田真穂



2月24日(日) ～源流域調査～ 晴れ

調査者：鳥越龍、鳥越珠貴、鳥越典子、鳥越昌三、西岡蓮、上条ろい、金澤えいし、
深沢大地、佐野真吾、山田陽治

【大道中学校大道溪谷】(源流域) 11:30～

生物：カワニナ12、オニヤンマ(幼虫)1、ヤマサ
ナエ(幼虫)1、ヤマトクロスジヘビトンボ(幼
虫)1、カワゲラsp(幼虫)1、ミズムシ多
数、ホトケドジョウ9(2卵持ち♀)

ゴミ：ペットボトル、ボール、傘、ビニール袋

備考：2月度侍従川定例クリーンアップ・ホタル生息
地整備作業と併せて調査。



【幻の池/白骨谷戸】(源流域) 14:30～

生物：オオシオカラトンボ(幼虫)2、ミズムシ多数

ゴミ：なし

備考：池の水位が減っていた。



【若水】(源流域) 15:15～

生物：ヤブヤンマ(幼虫)2、ミズムシ

ゴミ：なし

備考：池ができていた。

シイタケが生えていた。



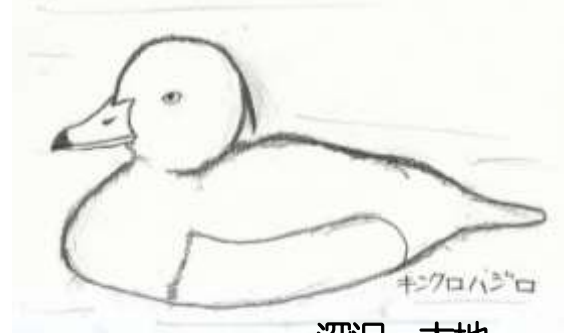
【ちとせ園(大道一丁目緑地)前】(中流域) 16:00～

生物：ガガンボsp(幼虫)、コシボソヤンマ(幼
虫)1、ミゾレヌマエビ4、テナガエビ2、
スミウキゴリ1

ゴミ：なし(午前中、侍従川定例クリーンアップ)

備考：短時間で終了したので、大して生き物の発
見ができなかった。

記録：山田陽治



事務局だより

事務局運営委員 長橋 輝明

◆4月～5月の活動予定◆

☆4/13(土) 春の草摘み&野草料理 9時～15時 大道小学校集合

午前…源流の森で草摘み 午後…ちとせ園で調理 参加費:会員¥200、非会員¥400

要申込み:山田 09038060055 又は yohji-y@ezweb.ne.jp まで

☆4/28(日) 侍従川定例クリーンアップ 9時～12時

ちとせ園集合 ※雨天延期…翌週日曜



☆5/11(土) フレンドまつり(ザリガニ釣り、侍従川水族館)大道小学校 10時～15時

☆5/12(日) 潮干狩り&干潟の生き物観察会in野島 9時～15時

野島青少年研修センター「未来のたまご」前集合 参加費:会員¥100、非会員¥200

☆5/26(日) 侍従川大そうじ 10時～12時 大道小学校集合 ※雨天中止

〈学生部の活動〉

☆4/28(日) 学生部侍従川定例調査 13:00～17:00

☆学生部新入生歓迎遠足 日時・場所未定

☆ホテルプロジェクト～ホテル調査

5/25(土)～7/6(土) 19:00～20:30

…毎水土曜日予定

◎活動の詳細(集合時間・場所、持ち物など)は、ホームページをご覧ください。

<http://jijyukai.web.fc2.com/>

《編集後記》 今年は今明けから寒い日が続きましたが、3月に入って急に暖かくなり、桜の開花は例年より2週間も早く、この号が発行される頃には散り始めているかも。花粉症にはつらい季節ですが、花や虫を見るとウキウキしますね。(MK)

ふるさと侍従川に親しむ会 事務局

金沢区六浦5-23-26

長橋 輝明

TEL&FAX: 781-4042

e-mail: jr-nagahashi@seaple.icc.ne.jp